



子ども議員
さいとう あおい
齋藤 葵 さん

Q 国見町の「桃」は歴史を作り、私たちを繋いできた誇りです。しかし、農家の担い手が減少しています。農業を持続させるために会社のような企業化を提案します。

A 企業化に当たっては運営する人材の確保と資金調達などの課題があります。意見を参考に次世代に継承していくには何ができるか検討していきます。

--- Comments ---

課題をまとめて発表する難しさを実感しましたが、最後までやり遂げた達成感と行動することの大切さを学びました。



子ども議員
とみた ひろむ
富田 浩歩 さん

Q 国見町には歴史ある「義経まつり」があります。義経まつりに町の食べ物エリアを作ったり、町に関するクイズ大会をしたり、特産物などのPRを強化することを提案します。

A 地域おこし協力隊が国見町産の食材を使ったピザを販売する予定です。その他の提案についても実施の方向で検討します。

--- Comments ---

職員の皆さんが落ち着いて答弁する姿に感心し、私も見習いたいと思いました。



子ども議員
さいとう ひまり
齋藤 ひまり さん

Q 多くの生徒が利用している観月台文化センターでWi-Fiが繋がりにくいなど、学習環境に課題があります。町はどのように把握し、どのような取り組みを行っていますか。

A Wi-Fiが繋がりにくいことは利用者からの声があり、町として把握しています。今後、専門業者に調査を依頼し、改善策を検討します。

--- Comments ---

緊張しましたが、私たちの言葉が町の未来につながると感じ、これからも地域のために積極的に行動したいです。

● 私たちが暮らす町の取り組みを知るとともに、自分たちの意見を伝えることの大切さを学びました。

松田梨愛さん

● まちづくりには多くの人の思いと努力があることを知り、一人の町民として地域に貢献していきたいと思いました。

穂刈綸さん

● まちづくりや議会について多くのことを学ぶことができました。貴重な経験になりました。

高橋利綱さん

● 実際の町議会さながらの雰囲気を経験することができ、貴重な経験となりました。

瀬戸冬樹さん

● 私たちの意見がまちづくりにつながっていることを実感し、地域の未来について考える貴重な機会となりました。

制野亘留さん

議会を傍聴した
生徒の声

Q 私たちの通学路には、夜になると暗くなる場所などがあります。町は通学路の安全性についてどのように考えていますか。

A 通学路は保護者の方と考え、学校に報告したルートになっていると認識しています。状況に合わせて通学路の安全なルートに変更するなど安全に通学されているものと考えます。

--- Comments ---

子ども議会を通して、議会の仕組みや町の現状について理解を深めることができました。



子ども議員
みさわ ゆうり
実沢 優莉 さん

Q 部活動引退後の中学生が健康づくりや運動不足解消のため、気軽に参加できるレクリエーションイベントを開催してほしい。

A 町長杯スポーツ大会などで多世代が参加できるニュースポーツを実施しています。今後、ももたんスポーツクラブの会員から意見を集約し、「ニュースポーツ教室」の開催を検討します。

--- Comments ---

とても緊張しましたが、貴重な経験になり、自分の意見を伝えることの大切さを学ぶことができました。



子ども議員
はせがわ ことな
長谷川 琴南 さん

Q すべての中学生が各種検定を平等にチャレンジできるよう各種検定の受験料の全額補助を提案します。

A 現在、中学2・3年生に対して年1回の半額助成をしています。提案いただいた内容を参考に、今後、持続可能な教育支援のあり方について検討します。

--- Comments ---

本番はとても緊張しましたが、落ち着いて発表することができ、自信につながる貴重な経験となりました。



子ども議員
おかざき ゆきと
岡崎 悠稀人 さん



令和8年度子ども議会 子ども議員が未来への提言

国見町子ども議会が7月9日、国見町役場議場で開催されました。県北中学校3年生の生徒7名が子ども議長と子ども議員になり、まちづくりに関する質問と提言をしました。

子ども議長の大沼紅寧さんが議会の開会宣言をすると、議員席に座る子ども議員6名は、自分たちで考えたまちづくりに関する一般質問を行いました。通学路の安全確保、健康づくり、農業の産地活性化、魅力発信のイベントなど幅広い質問に村上利通町長や担当課長が丁寧に答弁しました。傍聴した生徒たちも、真剣な眼差しで子ども議員の質問や町からの回答を聴いていました。子どもたちが臨場感あふれる議場で将来の国見町の在り方やまちづくりについて考える機会となりました。



子ども議長
おおぬま あかね
大沼 紅寧 さん

--- Comments ---

私は子ども議会で議長を務めました。議長という貴重な経験を通して、話し方一つで議会の雰囲気が変わることを実感しました。緊張していましたが、落ち着いて相手に伝わるよう意識して話すことで、会場全体が安心した雰囲気となり、議会を円滑に進めることができました。

